

平成28年度 第1回 まち・ひと・しごと創生有識者会議

平成28年8月9日(火) 13:30~

つくばみらい市役所 伊奈庁舎3階会議室



(1) 平成27年度地方創生交付金事業について

(2) 平成28年度地方創生交付金事業について



(1) 平成27年度地方創生交付金事業について

- ・定住促進を図るためのつくばみらい市の魅力等発信事業
- ・交流人口を増加させるための観光情報等発信事業
- ・子育てにやさしいまちづくり事業



(1) 定住促進を図るためのつくばみらい市の魅力等発信事業

■事業目的・概要

市外の人に当市の住みやすさや魅力などをPRし、当市への定住促進を図るため、子育て、教育、環境などの市の施策、自然や文化などの市の資源等を紹介するホームページを見やすくするとともに、更新に係る業務を最適化することにより、国内はもちろん海外にまで広く市をPRすることにより定住促進に繋げる。

■事業経費概要

市ホームページリニューアル事業のための初期経費

■事業費 5,136,480円（内国費：5,136,480円）



(1) 定住促進を図るためのつくばみらい市の魅力等発信事業

更新前



更新後



(1) 定住促進を図るためのつくばみらい市の魅力等発信事業

移住のページ
定住促進関連ページ



10周年のページ



(1) 定住促進を図るためのつくばみらい市の魅力等発信事業

■ KPI

指標値（単位）	目標年月	実績値（単位）	計測時期
5,000件	平成28年3月	4,792件	平成28年3月
(定住促進関連ページへのアクセス数)			

実績値の 毎月の閲覧者数確認及びホームページに寄せられ
確認方法 た意見等を分析することによる検証を行った。

■評価

- A 非常に効果があった。
- B 相当程度効果があった。
- C **効果があった。**
- D 効果がなかった。



(1) 定住促進を図るためのつくばみらい市の魅力等発信事業

■担当課の所見



サイト内のキーワード検索が可能になり、検索機能が強化された。また、サイト全体の構造の見直しを行ったため、欲しい情報にたどり着きやすくなった。さらに、各ページがウェブアクセシビリティに配慮したレイアウトになっているため、内容も読みやすくなった。

■課題

本格的な運用がはじまり、既存ページの更新や新規ページの追加に伴い、システム構築時には予見できなかった「利用しにくさ」「探しにくさ」が散見されるので、隨時改善が必要である。

■今後の取組

- ・職員研修を毎年開催し、ウェブアクセシビリティに配慮したページ作成方法の周知徹底を行う。
- ・欲しい情報にたどり着きやすいホームページを目指し、階層の見直しやカテゴリー分類など、サイトの構造を隨時見直していく。

(2) 交流人口を増加させるための観光情報等発信事業

■事業目的・概要

市の観光及び地域特産品に対する意識や関心を高めるため、市観光協会ホームページを再構築する費用を観光協会に補助し、スマートフォン等の機器の普及や、ソーシャルメディアの利用者増加に対応した情報発信活動を支援する。

新たなホームページには、CMS(コンテンツ管理システム)の仕組みを取り入れることで、専門知識がなくても、迅速かつ低コストで更新ができる、観光事業の振興に繋げることができる。

■事業経費概要

観光協会ホームページをリニューアルするための観光協会への補助金

■事業費 1,276,000円（内国費：1,275,750円）



(2) 交流人口を増加させるための観光情報等発信事業

更新前



更新後



(2) 交流人口を増加させるための観光情報等発信事業

■ KPI

指標値（単位）	目標年月	実績値（単位）	計測時期
127,000人	平成28年3月	129,000人	平成28年3月
(市内観光入込客数)			

実績値の確認方法 ホームページ掲載施設等の来場者数や観光イベント等の来場者数をカウントすることによる検証を行った。

■評価

- A 非常に効果があった。
- B 相当程度効果があった。
- C **効果があった。**
- D 効果がなかった。



(2) 交流人口を増加させるための観光情報等発信事業

■担当課の所見

CMSの導入で更新が容易となり、迅速な情報発信が可能となった。また、観光施設や特産品等の情報や画像を充実させたこと、facebookとの連携を図ったことにより、ホームページへのアクセス数が徐々に増加し、入込客数の増加に繋がったと思われる。

■課題

利用者が求めている情報がより多様化しているので、掲載情報については、早急な情報発信及び更なる情報の充実が必要である。

■今後の取組

今後も時代に沿った、効果的な情報発信を図っていかなければならぬが、観光施設やイベント等も一工夫を加え、誘客力向上を図る。



(3) 子育てにやさしいまちづくり事業

■事業目的・概要

妊娠、出産、育児の各ライフステージに応じた支援情報を提供するため「子育てガイドブック」を作成するとともに、積極的に乳幼児と一緒に外出しやすい環境を整えるための授乳施設等の整備を行う。併せて、災害発生時の備蓄用品等を整えることで、子育て世代が子育てにやさしいまちと実感できるまちづくりを進める。

■事業経費概要

子育てにやさしいまちづくりPRとして

- ・子育てガイドブック(外出安心マップ)作成経費
- ・子育て応援サイト拡充経費
- ・授乳施設等案内表示板及びのぼり旗作成経費
- ・授乳施設等整備経費
- ・乳幼児防災用品等購入経費

■事業費 13,155,174円（内国費：10,563,690円）



(3) 子育てにやさしいまちづくり事業

子育てガイドブック
～みらいっ子～【表紙】



子育てガイドブック
見開きページ



(3) 子育てにやさしいまちづくり事業

赤ちゃんの駅設置事業



移動式赤ちゃんの駅



(3) 子育てにやさしいまちづくり事業

赤ちゃんの駅【伊奈庁舎】



(3) 子育てにやさしいまちづくり事業

赤ちゃんの駅【谷和原庁舎】



赤ちゃんの駅【図書館】



(3) 子育てにやさしいまちづくり事業

乳幼児防災用品等購入事業

防災倉庫



主な備蓄品



- 哺乳びん野菜洗い800ML
- AN哺乳瓶広口240ml(クロス)
- AN哺乳瓶スタンダード240ml(クロス)
- IES グーグーキッチン まぐろの炊き
- ANベビーストローマグ
- よく取れる赤ちゃん綿棒
- モンダミン ペパーミント
- 乳首ブラシ
- 低臭水缶20L
- パンパースさらさらケアテープ ウルトラジャ
- ステップ らくらくキューブ
- ほほえみ らくらくキューブ
- 母乳パッド フィットアップ
- AN哺乳瓶広口160ml(丸穴)
- AN哺乳瓶スタンダード160ml(丸穴)
- JJジョンソンベビー全身シャンプー泡タイプ
- JBオイル無香料300ML

(3) 子育てにやさしいまちづくり事業

■ KPI

指標値（単位）　目標年月　実績値（単位）　計測時期
10%向上　平成28年3月　6.5%向上　平成28年6月
(子育て中の保護者が安心して子育てできる
やさしいまちづくり満足度 H27:76%)



実績値の 確認方法　子育て中の保護者にアンケートやインタビュー等の
調査を行い、子育て支援に係る満足度を測った。

■評価

- A 非常に効果があった。
- B 相当程度効果があった。
- C **効果があった。**
- D 効果がなかった。

(3) 子育てにやさしいまちづくり事業

■担当課の所見

子育てにやさしいまちづくり事業の実施前後において、子育て中の保護者の満足度指標を測定。事業実施前(H27.6月アンケート結果)の満足度は76%であり、その後ハード・ソフト両面による事業を展開し、再度(H28.6月)満足度指標を測定した結果は82.5%であった。単年度(H27年度)において、各事業を導入しながらのPR活動とであったが、わずか1年間で満足度が6.5ポイント上昇したことは、安心して子育てできるやさしい事業効果はあったと評価できる。



(3) 子育てにやさしいまちづくり事業

■課題

子育てにやさしいまちづくりの満足度、認知度等の成果が表れるには期間を要し、短期間での高い評価を得るのは非常に困難と思われる。しかしながら、今後の事業効果(満足度等)向上を図るために、子育て中の保護者ニーズなどの意見聴取を行い、常に最新情報を把握することが必要とされる。

■今後の取組

子育て中の保護者のニーズ調査(アンケート・インタビュー等)を行い、その結果を詳細に分析したうえで、今後も子育て中の保護者のサービス向上が図れる効果的で持続性のある子育て支援施策を実施するため、市の将来ビジョン(短・中・長期)等を見据えながら、事業展開を図る。



(1)平成27年度地方創生交付金事業について

(2)平成28年度地方創生交付金事業について



(2) 平成28年度地方創生交付金事業について

○シティセールスプラン策定業務

マーケティングに基づくシティプロモーション及び実践プランの策定、各種PR等

○都市農村交流事業

NPOと連携した都市農村交流事業の実施

○有資格者社会復帰支援事業

移住や子育てなどにより、現場を離れている有資格者に対し、社会復帰を支援



交流人口の増加、定住促進を図る



シティセールスプラン策定業務

■事業目的

国が掲げる地方創生を進めるべく、市の総合戦略の基本目標としている「定住促進策」や「地域の魅力発信」を強化し、将来的な人口増加につなげることを目的として、シティプロモーション事業を進める。

当該事業においては、シティセールスプランやシティセールスブック(※1)を策定し、シティプロモーション事業を強力に推進していくこととする。

※1

シティセールスブック……市内外に本市の魅力を発信するためには作成するパンフレットで本市のもつ地域資源や取り組みをコンパクトに紹介するもの。

■事業費 40,000,000円（内国費： 40,000,000円）



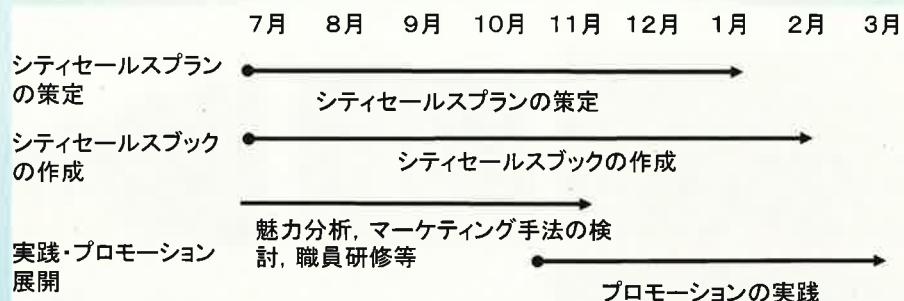
シティセールスプラン策定業務

■事業内容

- ①シティセールスプランの策定
- ②シティセールスブックの作成
- ③実践・プロモーション展開



■事業スケジュール



都市農村交流事業

■事業目的

NPOと連携して、市の基幹産業である農業を活用した都市住民と地域住民の交流により、地域の魅発信を行い、この事業をきっかけとして、交流人口の増加や移住・定住の取組みを行うものである。

■事業費 1,945,000円（内国費：1,945,000円）



都市農村交流事業

1 移住・定住対策都市農村交流体験事業

都市住民に、本市を「知ってもらう」「来てもらう」きっかけとして、農村が培ってきた魅力ある暮らしや楽しさをPRし、地域資源を活用したグリーン・ツーリズムや子どもたちの農業体験を実施する。

・連携団体

・NPO法人「古瀬の自然と文化を守る会」

・事業概要

①田んぼアート田植えによる農業体験

②市特産品PR:「トマトカレー」、「みらいプレミアム(ジュース、ジャム)」の試食



都市農村交流事業

2 移住・定住者向け農業体験事業



本市の魅力や農業の魅力を知ってもらうきっかけづくりの事業として、都市住民が農業に触れ、農業を学ぶ空間を確保するため、NPO法人と連携し、農業をやってみたいと考えている若い世代の男女を広く募集し、野菜の種まきから刈り取りまでの一連の農業体験や地域住民との交流を実施する事業で、農業への興味を持つてもらうことにより、市に移住・定住し新規就農者となる人材の育成・確保を図る。

・連携団体:NPO法人「城山を考える会」

・事業概要:農業体験、市特産品PR事業及び交流を実施

・今後の予定

8月21日:そばの種まき

9月18日:そばの土寄せ※昼食に新米のおにぎりを用意

10月23日:そば刈り、さつまいも掘り

11月20日:そば打ち、しめ縄作り

11月26日:NPO法人主催の里まつりへの参加

12月下旬:餅つき体験

1月下旬:交流会

有資格者社会復帰支援事業

■事業目的・概要

働きたいと希望を持つつつも、育児や移住などの理由で現場を離れたことで、再就職に不安を持つ“もと保育士”，“もと幼稚園教諭”的方に、民間と行政が連携し、保育実地体験と幼児教育復習を提供するセミナーを開催する。

午前

保育実地

午後 講義
(現在の保育事情他)



7月22日開催の様子



■事業費 136,000円

(内国費：136,000円)



